

## 前に進めば向かい風

校長 長元 武彦

3月は別れの季節です。新型コロナウイルス対応のため規模を縮小し、3月12日（木）に実施した卒業式では、卒業生73名を送り出しました。国難に立ち向かうためとは言え、卒業生にとっては例年とは違う形態での卒業式となってしまい、寂しさに拍車をかけることになり申し訳なく思います。しかし、卒業式に出席できなかった在校生や来賓をはじめとする地域の方々などの想いは、式を通して卒業生に伝えることはできたのではないかと感じています。

さて、私は自分の健康のため、毎朝軽くジョギングをすることを心がけています。ジョギングしている際、たとえ無風であっても、前に向かって進んでいる状態の私にとっては、身体の前面に風が当たるので向かい風のように感じます。後ろから追い風が吹いている場合も、前に進んでいる速度より弱い追い風なら、向かい風が吹いているように感じます。私自身が前に進むより速い速度で追い風が吹いている時に初めて、後ろから追い風が吹いているように感じるのです。ということは、ほとんどの場合において、向かい風にさらされているように感じていることに気付きました。これは、私たちの人生の歩みと共通しているように思います。困難の有無にかかわらず、事を為そうとしているときは、向かい風が吹いているように感じるのではないのでしょうか。しかし、向かい風を受けるのは前に進んでいる証拠です！向かい風を受けながらも、お互い前に進み続けましょう。

旧B棟の工事が完了し、先日本校への引き渡しが終わりました。次年度からはリフレッシュした学び舎での新たな歩みも始まります。今後も、本校や本校生徒の歩みも逆境に突き当たることがあるかもしれませんが、向かい風ばかりでは無いと思います。1年間、保護者や地域からの絶大なるご支援・ご協力も強力な追い風でした。改めて感謝申し上げます。誠に有り難うございました。

### 4月の目標

生活指導目標	「立ち止まってあいさつ」と「正しい授業時のあいさつ」をしよう。
学業指導目標	学習用具を始業前に準備し、一分前に黙想を始めよう。
保健指導目標	学校環境を整備しよう。協力して給食の準備をしよう。
安全指導目標	安全な登校方法を知り、実行しよう。

## 4月の行事予定

1日（水）年度始休業（～5）	18日（土）青少年育成の日
2日（木）部活動休養日	19日（日）家庭の日、ふるさと美化活動
4日（土）部活動休養日（～5）	21日（火）歯科検診、部活動休養日
6日（月）新任式、始業式、入学式、1年PTA、部活動休養日	23日（木）生徒会専門部会、第1回PTA代議員会・専門部会
7日（火）身体計測、視力測定、聴力検査、学校生活ガイダンス	24日（金）不審者対策訓練、交通安全教室、生徒会学校専門委員会
8日（水）NRT等諸検査（～9）、避難訓練、部活動休養日	27日（月）部活動発足式
10日（金）生徒会入会式、部活動紹介	28日（火）部活動休養日、授業参観、PTA総会、家庭教育学級開講式、部活動保護者会、PTA歓迎会（予定）
13日（月）2・3年PTA、部活動見学会体験入部（～27）	29日（水）昭和の日
14日（火）家庭訪問（～23）、尿検査（～15）	30日（木）部活動休養日
16日（木）部活動休養日、中学校施設開放説明会（予定）	

## 第8回 クラスマッチ

2月21日（金）に全校生徒でクラスマッチを行いました。天気にも恵まれ、それぞれ学級対抗によるグラウンドではサッカー競技を、体育館ではバレーボール競技を実施しました。これまでの体育の授業で練習してきた成果と学級の団結力を発揮しました。競技はもちろんのこと、学級毎に応援でも大変盛り上がりました。生徒会保健部の運営により、大きなケガもなく、滞りなく競技が進行し、予定どおり終了することができました。本年度、最後の学級でのまとまったの行事でした。1年間過ごした仲間との友情の深さが改めて感じることができた1日となりました。



### < 成績 >

#### 〔サッカー競技〕

- 1位 3年1組
- 2位 2年1組
- 3位 3年2組, 1年2組

#### 〔バレーボール競技〕

- 1位 2年2組
- 2位 3年1組
- 3位 3年2組, 1年2組

## 校舎の改修工事終了

昨年の7月から改修工事を行っていた旧B棟の改修工事が今年2月末に終わりました。約7か月間にわたる工事で、生徒はもちろん、学校周辺の皆さんにもご迷惑をおかけしましたが、おかげさまで素晴らしい校舎になりました。

外装がきれいになりましたが、内部も教室や廊下は木の香りのする温かみのある壁や床に張り直され、落ち着いた雰囲気になりました。3月中に随時教室移動を終えて、4月から新たな学び舎として、活用いたします。いつまでもきれいで美しく保つよう大切に活用していきたいと思えます。



## 鹿児島学習定着度調査の結果

1月15日（水）・16日（木）に行われた令和元年度鹿児島学習定着度調査の結果が公表されました。本年度は、『生徒がよく考える授業づくり』を意識した授業改善に取り組んできました。1, 2年とも国語を除き、県平均に達することはできませんでしたが、生徒の発表したり、話し合い活動をしたりする意識は高まっています。この結果を受けて、より深い学びへつなげていくための素地となる基礎的な内容の確実な定着が図れるよう努力して参ります。ご家庭でも、課題の見届けなど、ご協力いただきますようお願いいたします。〔ゴシック体は県平均を上回っている教科〕

	1年		2年		
教科	本校	県	教科	本校	県
国語	<b>81.6</b>	79.6	国語	<b>77.5</b>	74.5
社会	56.1	64.9	社会	53.7	61.2
数学	63.4	71.3	数学	49.5	60.7
理科	56.0	64.8	理科	48.3	58.0
英語	65.4	67.9	英語	51.6	61.0

## がんばれば感動！〔受賞報告〕

### 【第53回鹿児島県愛鳥週間作品コンクール】

〔入選〕（2年）富田 かえでさん

### 【豊かな心を育てる読書大賞】

〔多読者賞の部〕（1年）永井 芹奈さん, （2年）土岐 鈴夏さん, （3年）岩元 大幸さん



# 喜界中だより

校訓 志 創 錬  
3月号

(住所) 〒891-6202 喜界町湾1775番地 TEL 65-0026 FAX 65-0058

## 第8回卒業式

3月12日(木)に、第8回卒業式を行い、73名の卒業生が義務教育を修了しました。

今年の卒業式は、新型コロナウイルス感染予防対策のため、急遽来賓の方々の出席をご遠慮していただきとともに、式の内容も簡略化して実施しました。

卒業生は、当日の朝の練習しかできませんでしたが、それを感じさせない素晴らしい態度で卒業証書を一人ずつ受け取りました。卒業生代表あいさつでは、相良駿希さんが、「自分の学びを生かして、困難に打ち勝つ人間になりたい。」と決意を述べました。在校生が出席していないため、1、2年生を交えての合唱はできませんでしたが、卒業生全員で、3年間の思いを込めて「手紙～拝啓 十五の君へ～」を合唱しました。最後に、保護者と職員の拍手に送られ、会場を後にしました。

今年度の卒業式に、在校生の出席はなく、在校生代表と卒業生代表が思いを伝え合う場面がありませんでした。そこで、在校生代表の体岡大地さんの「送辞」と卒業生代表の相良駿希さん(卒業生あいさつでは一部省略していました)の「答辞」の全文を紹介します。



### 『送辞』 (在校生代表 第9期生徒会長 体岡 大地さん)

深々と大地に根を伸ばし、じっと冬に耐えてきたタンポポも、今太陽に向かって花開こうとしています。校庭の桜も満開となり、春の香りが漂い始めました。この素晴らしいよき日に喜界中学校を旅立たれる73名の皆様、ご卒業誠にありがとうございます。在校生一同心よりお祝い申し上げます。

今、皆様は、この喜界中学校での3年間で、どのように振り返っていらっしゃるでしょうか。多くの人との出会いの中で、貴重な体験をし、十人十色の思い出を築き上げてこられたことと思います。今、先輩方との思い出を振り返ってみますと、いつも私たちの背中を優しく押してくださっていたことに改めて気づかされます。不安でいっぱいだった一年生の春、同じスクールバスで登校した先輩がバスを降りてから教室まで、ずっと一緒に歩いてくださいました。その春のことを今でもはっきりと覚えています。先輩の優しさがあったからこそ、新しい環境にもすぐに慣れることが出来たように思います。常に私たち後輩の前を歩き、お手本となってくださった先輩方の背中には、私たちにかげがえのないものを残してくださいました。

合唱コンクールでは、忙しいスケジュールの中、先輩方は、連日遅くまで練習をしてくださっていました。本番での、一つにまとまった3年生のクラスの歌声は、体育館にいたすべての人の心に響き渡り、私たちは大きな感動をいただきました。

体育大会では、先輩方が優勝めざしてがむしゃらに競技に挑む姿がとても輝いて見え、私たちも負けじと必死で競技・応援に取り組むことで、いつの間にか生徒全員が一生懸命になっていました。

また、11月にあった「文化祭」では、進路、将来についてなど、さまざまなテーマに沿った舞台発表、英語劇を見ることができました。全員一丸となって取り組まれた、笑いあり感動ありの文化祭をありがとうございました。仲間との強い絆を感じる事ができました。

部活動においても、先輩方は常に私たちの先頭に立って、リーダーシップを発揮してくださいました。日々の練習を通して、机の上の勉強だけでは得ることのできないものを教えていただきました。部活動で鍛えられた精神力や忍耐力は、これからの人生の中で、必ず生きてくることと思います。

今、こうして振り返ってみますと、先輩方は常に私たちの目標であり、心の支えでもありました。そのような先輩方が自分の夢のために日々試行錯誤し、努力してこられた姿を、私たちは、ずっと見てまいりました。これからは先輩方が築き上げてこられた伝統を私たちが継承していかなければなりません。皆様の母校である、この伝統ある喜界中学校を先輩方の勇姿に習って、ますます誇れる学校にしていくことを誓います。昨年の卒業式で相良前生徒会長が紹介して下さった、歌手のアンジェラ・アキさんの歌『手紙～拝啓 十五の君へ～』が心に残っています。

(※ 略)

この歌詞は、先輩方の姿に重なります。

これから人生を歩んでいく中で、数えきれないほどの試練や、乗り越えるのに容易ではない壁にぶつかることもあるでしょう。そんなときは、この3年間を思い出してください。喜界中学校で皆様が経験されてきたことの中に無駄なものは何一つないはず。友人との楽しい思い出は皆様を元気づけ、勉強や部活動で培ってきた力は、勇気を与えてくれることでしょう。そして、3年間の思い出と誇りと自信は、どんな困難な壁も打ち壊す大きな力となってくれるはず。

いつまでも名残は尽きません。卒業生の皆様のますますのご健康とご活躍を心からお祈り申し上げ、送辞といたします。

令和2年3月12日

在校生代表 体岡 大地

### 『答辞』 (在校生代表 第8期生徒会長 相良 駿希さん)

教室まで届く海からの風に、島に春が来たことを感じるこの良き日に、私たち73名は卒業の日を迎えました。

世界的に問題となっている新型コロナウイルスによって、私たちの卒業式もこのような形での開式となりました。急遽、計画を練り直し、この式典を取り計らって下さった先生方、地域の方々、保護者の皆様、卒業生一同、心より御礼申し上げます。

3年前、真新しい制服に身を包み、これから始まる中学校生活に希望と不安を抱き、緊張しながらこの体育館に入場しました。あの日から、仲間とともに歩んできた3年間はあっという間でした。

2年生では、渡り廊下のトイレの改修が始まり、少し遠い体育館のトイレを利用していたことを思い出します。不便な思いもりましたが、きれいなトイレになって嬉しく思いました。

行事では修学旅行や合唱コンクール、体育大会を経て、いよいよ私たちの学年が学校を引っ張る立場となりました。第8期生徒会を発足し、「才華爛熳」をスローガンに、喜界中学校の生徒一人ひとりが、その個性や才能を花開かせることを目指して、ボランティア活動やあいさつ運動を行っていきました。

3年生となり、最高学年としての責任を強く感じる事が多くありました。旧校舎の改修もあり、他学年を身近に感じながら、毎日の学校生活を過ごしました。

体育大会では、応援団での、後輩への指導や演舞の作成などを通して、全体をまとめていくことの難しさを痛感しました。本番は、台風の影響で、競技数を減らし、テントを立てない中での開催となりました。熱中症予防や体調管理など、乗り越えなければならないことがたくさんある中で、団結力を高め、感動をみんなで分かち合うことができました。

また文化祭では「持続可能な社会を」というテーマで、それぞれがこれまで学んできたことを舞台上で発表し、命や自然を守ることの重要性を訴えることができました。

このように、私たちが充実した3年間を送ることができたのも、たくさんの支えがあったからです。

在校生の皆さんにも伝えたいことがあります。私たちをこれまで支えてくれて、ありがとう。前を向いて進む仲間がいるからこそ、乗り越えることができます。仲間を大切に、これからの喜界中学校を皆で引っ張って行ってください。

いつも熱心に指導して下さった先生方。悩んでいる時は励まし、嬉しい時には共に分かち合ってください、本当にありがとうございました。

また、私たちに励まし、寄り添い、支えてくれた家族の皆さん。家族の温かさにもいつも感謝しています。これからもよろしくをお願いします。

2020年、令和元年度という、この新しい時代を迎えた年に私たちは卒業します。改元という年、56年ぶりに東京でオリンピックが開催される年という希望と夢に日本が包まれる中で、新型コロナウイルスによる世界的規模での流行という、今まで考えることもなかったようなことが起こっています。

保健体育の教科書に、アジア初の国際オリンピック委員会委員にも選ばれた嘉納治五郎の言葉で「精力善用・自他共栄」が紹介されています。鍛錬や勉強を通して養った力を他人のために活用することで、自他共に幸福になるという考えです。これから私たちは、様々な困難に出会うことでしょう。その困難を前に、自分の学びを、他の人のために生かすことができれば、どんな困難にも打ち勝ち、自他共に幸せに導くことができると思います。このことを実現できるような人間に、私たちは成長していくことをここで決意します。

最後になりましたが、私たちの学校生活を支えて下さったすべての方々に改めて御礼を申し上げるとともに、喜界中学校のさらなる発展を願って、卒業生代表あいさつの言葉とさせていただきます。

令和2年3月12日

卒業生代表 相良 駿希

